

みずほ銀行

中国人民大学学生代表

見学日時：2019年6月3日（月）9:30-11:30

見学場所：みずほ銀行

見学概要

2019年6月3日午前の9時半から11時半にかけて、第24回「走近日企・感受日本」全団員はみずほ銀行での見学を行った。そこではまずみずほ銀行側から歓迎のあいさつがあり、その後みずほ銀行の事業内容、企業文化、イノベーション等についての紹介があった。次いで質疑応答では団員らは積極的に質問をし、丁寧な回答を頂くなど、多くの収穫が得られた。その後団員らはみずほ銀行の中国人行員と交流を図り、記念写真を撮影した。



なぜですか？

問：みずほ銀行のビル周辺の景色は？

答：みずほ銀行本社ビルは皇居周辺の高層建築可能区域内で最も皇居に近い場所にあり、ビルや皇居など周囲を一望できる。

問：みずほ銀行はなぜ中国で個人業務を行っていないのか？

答：個人業務の実施にはキャッシュカードやATM機など高額の設定投資及び幅広い顧客資源

が必要となる。加えて中国の銀行業務はすでに発展しており、海外の銀行が個人業務を行っても良い結果は限定的である。その他、みずほ銀行が海外事業を始めた当初の目的は、日本企業の対外投資に伴い海外において日本企業に投資関連サービスを提供するためであり、当面はホールセールバンキングを中心とした業務展開が中心となる。

問：日本のモバイル決済業界の現状は？

答：日本の現在のモバイル決済業界はとて雑然としていて、10社以上がモバイル決済サービスを提供していることから、消費者はその都度異なる二次元コードを使う必要があるなど使い勝手が良くないため、中国ほどモバイル決済は普及していない。その中でみずほ銀行もモバイル決済サービスを行っており、今後機会があれば中国のペイメントサービス会社との提携可能性も追求していきたい。

問：日本の銀行はなぜ中国の銀行よりも事業範囲が広いのか？

答：中国では中国人民銀行が基準金利を設定し、銀行は基本的な預金・貸出業務で利益を獲得することができるが、日本は現在マイナス金利であるため、日本の銀行は産業分析やビジネスの橋渡し等より多くの事業を行うことで利益を獲得する必要がある。

問：日中両国の企業におけるプロジェクト実施方式の違いは？

答：中国企業は主にスピード重視の方式をとっており、まずプロジェクトについて実施するかどうかの決断をし、実施

のプロセスにおいて速やかに問題を発見し解決していく。対して日本企業は安全重視の方式をとっており、まず緊急時対応プランについての論証を行い、それからプロジェクトについて実施するかどうかの決断をする。緊急時対応プランにかかる時間は長い、ひとたびプロジェクトが実施された場合、その遂行力は非常に高い。

感想

みずほ銀行の中国人行員による自己紹介の際、文学専攻だった黄女史からは、自身が就職面接の際に面接官に対し自身の専攻と銀行での業務との不一致についての不安について述べたところ、多くの金融に従事する人のキャリアはいずれもゼロから始まっており、実際の業務においてより多くの重要な職業技能を習得することができる。面接官から励まされた出来事の紹介があった。この事から私は、日本企業の「業務において学ぶ」との従業員育成理念と新入社員への研修制度の堅持というものを感じ、またこうした一つの形式に固執しない人材選抜や従業員への戦略的育成により、従業員が日々学ぶ中で業務能力を高め、それと同時に従業員の会社への思いが保たれているのだと思った。また黄女史は当初、中国事業関連の部署では勤めていなかったが、彼女は中国事業の促進に関する業務において日中の業務交流促進の架け橋となることを希望していた。そしてみずほ銀行の柔軟な人事異動制度と人材への重視により黄女史はチャンスを掴み、中国営業推進部において自身のより大きな価値を発揮することになった。みずほ銀行を代表とする日本企業は、企業による従業員の育成について従業員が価値を発揮することと同様に重要なものと認識しており、これは様々な分野の人材により広い窓口を提供すると同時により大きな発展の機会をもたらすものである。「996(朝9時出勤、夜9時退勤、週6日勤務)」業務制が流行している中国において、従業員を大きな発展を望む独立した個人としてではなくただの雇用契約下の労働ツールとして見ていないか、また従業員の能力の育成を疎かにしていないかについて、一部の企業は自身の従業員への態度を再認識すべきではないだろうか。みずほ銀行に対する考察を通じて、私は正にこうした先を見通す人材育成理念と成熟した管理システムの下でこそ、従業員は企業の発展と従業員個人の幸福感をリンクさせることができ、従業員の業務能力と素養が高まることで、みずほ銀行は世界をリードする金融機関となり、多くの日本企業が国際市場を開拓する上での最良の金融パートナーとなっていると感じた。

